

平成29年度

社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会
事 業 報 告

平成29年度社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

◇ 1. 組織体制の基盤強化	1
◇ 2. 重点事業	4

II 事業報告

◇ 1. 地域福祉事業の推進	6
◇ 2. 相談援助事業の実施	9
◇ 3. 福祉資金貸付事業の実施	10
◇ 4. ボランティア事業の推進	11
◇ 5. 自動販売機設置経営事業の推進	13
◇ 6. 市委託事業の受託経営	13
◇ 7. 指定管理事業の受託経営	14
◇ 8. その他社協関連事業	21

I 重点項目の取組み

1. 組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成29年第4回	平成29年 5月26日	12人	平成28年度事業報告等、 9議案
平成29年第5回	平成29年 6月16日	10人	会長の選定等、 4議案
平成29年第6回	平成29年 8月29日	8人	補正予算等、 3議案
平成30年第1回	平成30年 1月30日	9人	補正予算等、 6議案
平成30年第2回	平成30年 3月19日	9人	平成30年度事業計画等、 14議案
平成30年第3回	平成30年 3月28日	7人	会長の選定等、 3議案

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成29年第3回	平成29年 6月16日	16人	平成28年度事業報告等、 4議案
平成29年第4回	平成29年 9月 8日	11人	補正予算、 1議案
平成30年第1回	平成30年 2月13日	12人	補正予算、 1議案
平成30年第2回	平成30年 3月27日	14人	平成30年度事業計画等、 6議案

◇決算監査・中間監査の実施

- 決算監査：平成29年 5月16日
平成28年度業務監査及び会計監査
- 中間監査：平成29年11月16日
平成29年度上半期の業務監査及び会計監査

◇各種委員会等の開催

- 正副会長会議
適宜開催し、理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。
・開催回数：6回

○総務・財政委員会

- ・第1回：平成29年 6月 1日（出席者4人）
平成29年度社協会員会費の募集等について
広報「社協あさか」7月号の編集発行等について
- ・第2回：平成29年 9月 1日（出席者5人）
広報「社協あさか」10月号の編集発行等について
- ・第3回：平成29年11月29日（出席者5人）
広報「社協あさか」1月号の編集発行等について
- ・第4回：平成30年 2月28日（出席者5人）
広報「社協あさか」4月号の編集発行等について
会員規程の改正について
内部通報保護規程の制定について

○企画委員会

- ・第1階：平成30年 2月16日（出席者5人）
正副委員長の互選について
ふれあいサービス事業実施規程の一部改正について
3人乗り自転車貸出事業の終了について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：平成29年 6月22日（出席者4人）
第27期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について（欠員分）

◇法人化50周年記念式典挙行

- 開催日：平成29年6月11日（日）
- 会 場：朝霞市民会館（ゆめばれす）
- 参加者：670人（来賓、招待、受賞者、一般市民等）
- 内 容：①記念式典【表彰状並びに感謝状贈呈】
②記念講演 講師：平 澤 奈 古 氏
『スポーツで広がる世界 ～人生を変えたアーチェリー～』

◇苦情解決の適切な対応

各種福祉サービスについて、利用者等からの苦情に対し適切な対応で解決を図りました。

- 苦情件数 1件
- ・受付日：平成29年12月14日
- ・部 署：はあとびあ福祉作業所
- ・内 容：利用者の支援について

◇監査法人による内部統制の強化

改正社会福祉法の施行に伴い、内部統制やガバナンスの強化を図るとともに、専門家による予備調査を実施し、抽出された法人組織課題に基づき、内部管理体制の整備、役員等研修会を開催しました。

◇組織体制の見直しによる総合相談の実施

住民に分かりやすく利用しやすい総合相談体制を構築するため、相談窓口を一元化した組織の改編を行いました。これにより、相談等に対し適切な関係機関へつなげることが可能となり、社協内の情報共有や、連携強化にもつながりました。

◇事業評価制度の実施

本会事業の結果を評価し、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性などを検討し、事業の改廃や縮小、拡張に結びました。

(2) 人材育成と専門性の向上

◇職員の目標管理体制の実施

社協職員基礎力チェックリスト（自己評価シート）に基づき、職員一人ひとりが自らの能力の向上を図り、また、個々に目標を立て、達成に向けての取組みを意識しながら、業務を遂行していく意識の醸成を図りました。

◇職員提案制度の導入

職員個人及び部署などの創造力や研究心を高めるために職員提案制度を導入し、会員の増強や財源の確保などの提案を募りました。

◇職員研修制度の充実

朝霞市との職員実務研修（交流研修）を実施し、研修成果として、個人情報の登録、管理等の充実につながりました。

(3) 財政基盤の強化

◇寄付金実績報告

当会の地域福祉事業の推進にご賛同いただき、多くの方々より寄付をいただきました。

○個人：延べ18件 363,141円

○団体：延べ20件 849,805円

◇社協会員の加入促進

社協活動への理解と参加の促進及び自主財源の確保のため、自治会・町内会、市内外事業所と連携し会員会費の募集を実施しました。

また、会員会費をはじめとする自主財源が年々減少傾向にある状況を踏まえ、財源を確保するためのアイデアを各部署から募集しました。

（一般会員500円、賛助会員1,000円、特別会員5,000円）

○強化月間：7月1日～7月31日

○目標額：9,000,000円

○実績額：7,867,827円

○加入状況内訳

	平成29年度	平成28年度
一般会員	4,826世帯	4,722世帯
賛助会員	420世帯	400世帯
特別会員	177世帯	165世帯
500円未満	2,133世帯	1,744世帯

○社協会員会費募集説明会

平成29年6月15日 朝霞市総合福祉センター会議室

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○共同募金運動説明会（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）

平成29年9月14日 朝霞市総合福祉センター会議室

○配分金額

	平成29年度	平成28年度
一般募金配分金	3,786,000円	3,846,000円
歳末たすけあい募金配分金	4,700,000円	4,800,000円

◇収益事業の調査・研究

新規飲料用自動販売機の設置に向け、社協関連事業所等の中から設置可能な場所を調査し、設置の交渉を行いました。

（詳細は13ページ参照）

2. 重点事業

【プロジェクト①】

支え合い・助け合いの心づくりと仕組みづくり

◇教職員対象の福祉教育研修会の実施

小・中・高等・特別支援学校の教職員や、福祉教育に携わる様々な立場の方を対象に朝霞地区四市福祉教育研修会を実施しました。

（詳細は11ページ参照）

◇ボランティア講座参加者の活動支援

東洋大学の学生ボランティアセンターと協力し、東洋大学学園祭において福祉についてのブースを出展し、ボランティアクイズや車いす体験等の福祉体験、共同募金の周知啓発活動を実施するとともに、福祉体験を通じて社協事業の周知・啓発を行いました。また、東洋大学の講義にて出前講座として、社協が行っている事業や取り組み、ボランティアセンターの仕組み等について説明するなど、学生に体験プログラム等のボランティア募集情報の案内をしました。

このほか、福祉教育の車いすやアイマスク体験時の見守りや声掛け等を行うボランティアを育成するため、福祉教育サポーター講座を実施しました。

（詳細は12ページ参照）

◇福祉活動団体の周知

市内のふれあい・いきいきサロンの一覧や地域活動の実践者を広報紙に掲載したほか、活動団体のボランティア募集にあたってはボランティアニュースやホームページを活用して周知を図りました。また、活動団体間の情報交換の場として、老人会食グループとふれあい・いきいきサロン合同交流会を開催し、団体間の新たな関係性の構築を進めました。

◇地域懇談会の開催

小地域福祉活動の啓発および取り組みへのきっかけづくりとして、市内5地区で地域懇談会を開催しました。前年度に引き続き、「地域の安心なところ、心配なところ」のテーマを深め、その解決策について住民および関係機関職員で意見交換を行いました。ここで出された意見をもとに、異世代交流事業や障害者施設の見学会を行った地区もありました。

（詳細は7ページ参照）

◇福祉活動団体への支援

福祉活動団体への訪問等によって団体との関係づくりをしたことで、団体から相談を受け、支援につなげることができました。また、相談支援を行う中で、各団体の活動状況や課題を把握することができました。

○相談支援を行った団体：ふれあい・いきいきサロン、会食グループ等16団体

○相談支援内容：新規立ち上げ、団体の運営、助成金の案内、スタッフの募集等

【プロジェクト②】

安全・安心に暮らせる環境づくり

◇災害ボランティア講座の実施

ボランティアバス参加者に対し、災害ボランティアの理解を深めるため、事前説明会時に災害ボランティアとしての基礎知識を学んでいただき、朝霞市で考えられる災害時の対応についてグループワークを行いました。

○期 日：平成29年10月14日

○場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

○参加者：14人

◇住民の防犯への意識の啓発

地域懇談会において小地域福祉活動の啓発チラシを活用しながら、隣近所での声かけや見守りが防犯には極めて効果的であることを周知しました。また、はあとびあふれあい祭りにてオレオレ詐欺防止を呼び掛ける寸劇を披露したほか、自治会・町内会等で行われている防犯パトロール活動に同行して地域の状況を視察しながら、防犯意識の啓発に努めました。

◇関係機関との連携

地域懇談会において5つの地域包括支援センターや民生委員・児童委員、自治会・町内会、民間事業者、朝霞市等の関係機関との情報交換を図りました。また、活動計画推進における地域班の活動として、小学校区地域連携推進会議や包括支援センター主催のイベントへの参加を通じて、地域の関係機関との連携を図りました。

○地域懇談会への参加団体数：42団体

(地域懇談会の詳細は7ページ参照)

【プロジェクト③】

市民の暮らしや活動を支える体制づくり

◇生活再建に関する周知・啓発

生活再建に関する情報を、ホームページや広報「社協あさか」に掲載しました。また、関係機関に情報提供を行いました。

◇分かりやすい福祉情報の提供

既存のホームページのほか、迅速な情報発信と若い世代にも情報が届くことを目的としてツイッター及びフェイスブックの運用を開始しました。また、本会の行う福祉活動や福祉サービスを住民に分かりやすく伝えるため、「社協べんり帳」を一新して「朝霞社協まるわかり帳」を作成しました。

◇身近な相談支援の体制づくり

広報「社協あさか」に業務ごとの内容と連絡先の一覧を掲載したほか、貸付制度や各種相談窓口を掲載して相談窓口が分かるように周知しました。また、総合相談支援係を新設したことにより、日常的な相談ごとを一括して受けられる体制ができました。

◇地区ごとのネットワークづくり

地域懇談会を通じて5つの地域包括支援センターや民生委員・児童委員、自治会・町内会、福祉施設、ボランティア団体、民間事業者、朝霞市等とのネットワークの維持・強化を図りました。

◇ヒアリング調査の実施

地域懇談会において福祉活動団体等からニーズの聞き取りをしたほか、通年でふれあい・いきいきサロン等の地域で行われている活動に出向き、ヒアリングを行いました。活動者の高齢化による団体の先行きや人材の不足などが共通の課題としてあがりました。

II 事業報告

1. 地域福祉事業の推進

地域で支え合える仕組みがつかれるよう、住民の方々と一緒に取り組みを行うとともに、地域で活動している団体に対し幅広い助成を行うことで、地域の活動の支援を行いました。

◇小地域福祉活動の啓発

地域の交流が深まり、住民が主体となって、より身近な地域で支え合う仕組みづくりを目的に、地域懇談会や地域福祉講演会、地域防災イベント等の住民が集まる機会に小地域福祉活動のチラシを活用しながらその効果を説明し、啓発を図りました。

○啓発資材：「はじめてみませんか ご近所でふくし」

○啓発人数：1, 018人

このほか、住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	平成29年度	平成28年度
交付先	自治会・町内会 66団体	自治会・町内会 60団体
助成金額	2, 496, 540円	2, 344, 650円

◇地域懇談会を通しての住民ニーズの把握

誰もが地域で孤立せず、つながりを持つことができるよう、住民自らが地域の課題や自分たちができることを話し合う場として、市内を大きく5地区に分けて実施しました。ご近所の住民との関係性の希薄化や空き家の増加等、安全・安心なくらしを続けるために必要なことが話し合われました。その結果、顔見知りの関係づくりを目的とした異年齢交流事業や地域にある障害者施設の見学会などの実施に至りました。

- 期 日：平成29年10月、12月、平成30年2月から3月（全12回）
- 場 所：総合福祉センター、根岸台市民センター、弁財市民センター、
膝折市民センター、栄町市民センター、みぞぬま児童館 ほか
- 内 容：ワークショップ、発表、障害者施設見学、異世代交流
- 参加者：延べ245人

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループの活動支援として、交流会を実施しました。今回、対象の幅を広げ、サロン活動に興味がある方も参加していただきました。

- サロン活動者交流会
 - ・期 日：平成30年2月24日
 - ・場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室
 - ・参加者：41人（20団体）

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	平成29年度	平成28年度
団体数	44団体	44団体
助成金額	1,694,000円	1,742,000円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	平成29年度	平成28年度
団体数	8団体	7団体
助成金額	220,000円	210,000円

○歳末援護金

	平成29年度	平成28年度
団体数	43団体	43団体
助成金額	1,253,900円	1,263,900円

◇広報「社協あさか」やホームページ等の内容の検討・充実

- 「社協あさか」の発行 年4回
 - ・発行：7月・10月・1月・4月号
 - ・部数：1回 36,000部

○社協ホームページの充実

広報「社協あさか」や定期的に発行される各施設のおたよりなどを掲載、各種イベントや講演会の案内、身近な福祉の情報など社協の多様な事業に関する情報提供を行いました。

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員・児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協について」や「車いす体験・ガイドヘルプ」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

また、出前講座のメニュー一覧を作成し、「朝霞社協まるわかり帳」に掲載しました。

	平成29年度	平成28年度
実施回数	延べ26回	延べ11回

◇福祉機器・車いす専用リフト車の貸出し

○車いす：62件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等支援として貸出ししました。

	平成29年度	平成28年度
貸出回数	62件	49件

○車いす専用リフト車

車いす専用リフト車3台を外出支援として貸出ししました。

	平成29年度	平成28年度
貸出回数	延べ15回	延べ10回

◇地域福祉活動の担い手の育成

ボランティアとして活動したい人を対象に講座を開催し、ボランティアについての理解を深めていただき、実際に活動者として活躍してもらえるよう支援することを目的に実施しました。

（詳細は11ページ ボランティア事業の推進参照）

◇余暇支援・交流事業（障害児・者）の実施

【友・遊びまわりスクール】

○対象者：障害児（小・中・高校生）

○期 日：平成29年6月3日～平成30年2月3日 全5回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：工作・調理・運動等

○参加者：

	人数	内訳
平成29年度	延べ64人	障害児29人、ボランティア35人
平成28年度	延べ58人	障害児31人、ボランティア27人

【知的障害者スポーツレクリエーション】

○対象者：18歳以上の知的障害者

○期 日：平成29年6月10日～平成30年3月10日 全10回

○場 所：朝霞市総合福祉センター アリーナ

○参加者：

	人数	内訳
平成29年度	延べ220人	参加者187人、ボランティア33人
平成28年度	延べ194人	参加者162人、ボランティア32人

◇彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業および社協福祉資金貸付事業）にて相談のあった世帯のうち、緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員と連携して対応しました。

	平成29年度	平成28年度
福祉資金貸付事業相談	延べ74件	延べ140件
上記のうち、セーフティネット事業による支援	7人	10人

◇ホームクリーニング事業の実施

歳末たすけあい運動として、市内のひとり暮らし高齢者や障害者世帯を対象に、民生委員やボランティアの方の協力を得て、地域住民どうしの交流を図りながら、日頃手の届かないところの掃除を行い、気持ち良く新年を迎えていただくことを目的に実施しました。

	平成29年度	平成28年度
期間	10月2日～11月30日	10月3日～11月30日
件数（世帯）	56世帯	64世帯
活動者	28人	23人

2. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートネット）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	平成29年度	平成28年度
生活支援員	7人	7人
活動日数	延べ159日	延べ170日
相談件数	延べ688件	延べ668件
利用契約者	11人（認知症高齢者3人、知的障害者6人、精神障害者2人）	10人（認知症高齢者3人、知的障害者5人、精神障害者2人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置及び社協ホームページへのサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

◇生活支援員研修会の実施（ふれあいサービス協力員研修会と合同開催）

日本赤十字社による救急短期講習を行い、一時救命処置（心肺蘇生・AEDを用いた除細動）について学びました。

○期 日：平成29年12月21日

○場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

○参加人数：13人（内訳：生活支援員3人、ふれあいサービス協力員7人、福祉有償運送事業協力員3人）

また、生活支援員としての資質の向上を図るため、県社協主催の生活支援員基礎研修会・専門研修会に参加しました。

(2) 住民参加型在宅福祉サービス事業（ふれあいサービス）

住民の参加と協力により、高齢者や障害者、子育てなどで日常生活上の支援を必要とする方に対し、有償の家事援助、外出援助、子育て支援等を行いました。

	登録利用者	登録協力員	派遣協力員	延べ派遣日数	延べ派遣時間数
平成29年度	69人	76人	43人	1,265日	1,956時間
平成28年度	77人	96人	43人	1,093日	1,719時間

◇ふれあいサービス協力員研修会（福祉有償運送事業・生活支援員研修会と合同開催）

内容については前記生活支援員研修会参照

(3) 福祉有償運送事業

車イス利用者等身体的理由により、移動困難者の社会参加を促進し、在宅福祉の増進を図るため、福祉車両を使用し有償ボランティアの協力を得て移送サービスを提供しました。

	登録利用者	登録協力者	運送回数	運送人数
平成29年度	9人	13人	延べ134回	延べ134人
平成28年度	10人	13人	延べ112回	延べ112人

◇福祉有償運送事業協力員研修会（ふれあいサービス・生活支援員研修会と合同開催）

内容については前記生活支援員研修会参照

(4) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：45件（高齢者・障害者・子育て関係、生活困窮、権利擁護等）

3. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、訪問による償還指導を行いました。

○貸付相談：延べ74件（平成28年度 延べ132件）

○貸付件数：5件（平成28年度 6件）

○償還指導：27件（元金分の償還 1件）

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、訪問による償還指導を行いました。

- 貸付相談：延べ3件（平成28年度 8件）
- 貸付件数： 1件（平成28年度 1件）
- 償還指導： 12件
- 償還完了件数： 1件（平成28年度 0件）

4. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	平成29年度	平成28年度
個人	90人	126人
団体	710人（62団体）	668人（61団体）

○相談件数：

	平成29年度	平成28年度
相談件数	延べ47件	延べ18件
コーディネート件数	延べ29件	延べ17件

○団体利用室利用状況：

	平成29年度	平成28年度
登録団体	27団体	27団体
利用件数	延べ105件	延べ195件

○録音室利用状況：

	平成29年度	平成28年度
利用団体	2団体	2団体
利用件数	延べ57件	延べ80件

◇ボランティア情報の収集、発信

ボランティアセンターの活動やボランティアに関する情報、取り巻く状況等をボランティアや関係団体、地域住民に理解してもらうためにボランティアニュースを発行し、配布しました。

- 発行回数：年4回（7. 12. 1. 3月/1回2, 000部）

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

校長会や教頭会にて朝霞地区四市福祉教育研修会の周知を図り、研修会では福祉体験や当時者の講演を実施しました。研修の最後には朝霞市内の参加者で福祉教育について情報交換会を行いました。また、福祉教育協力ボランティアを育成するため、講座を開催しました。

- 対象者：四市内で福祉教育に関わっている教職員及びボランティア
- 期 日：平成29年8月9日・10日

○場 所：和光市総合福祉センター

○内 容：当事者講演、グループワーク、福祉体験（スルーネットピンポン、車いす、手話）

○参加者：

	平成29年度	平成28年度
四市合計	延べ128人	延べ90人
朝霞市内	延べ16人	延べ15人

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。

○依頼件数：

	平成29年度	平成28年度
延べ件数	31件	31件
小学校	9校+中学校1校	9校+中学校2校

○内 容：体験学習（車いす・ガイドヘルプ・手話・点字）

講演「視覚障害者への理解」

○福祉教育用機器貸出件数：32件（車いす・アイマスク・点字盤等）

（小中学校、市内福祉施設、企業等）

◇ボランティア講座の開催及び活動者の支援

【ボランティア入門講座】

○福祉教育サポーター講座

・期 日：平成29年8月25日

・場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

・内 容：車いす、アイマスク体験 福祉教育について

・参加者：8人

【東洋大学での講座】

○対象者：東洋大学ライフデザイン学科生活支援学科の学生

○期 日：平成29年6月12日

○場 所：東洋大学 朝霞キャンパス講義棟

○内 容：朝霞市社会福祉協議会 ボランティアセンターの活動について

【青少年ボランティア講座】

○期 日：平成29年11月4日・5日

○場 所：東洋大学

○内 容：ボランティアクイズ、共同募金の周知啓発活動、車いす体験

○参加者：150人（小・中・高校生・保護者等）

◇ボランティア体験プログラムの実施

子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる体験メニューを用意し、ボランティア参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

○対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者

○期 間：平成29年7月～10月（強化月間7・8月）

○場 所：市内各福祉施設等

○内 容：保育園、福祉施設等の19メニューの中から体験学習

○参加者：延べ202人（平成28年度 延べ185人）

◇ボランティアバス運行事業の実施（東日本大震災復興支援事業）

東日本大震災復興支援事業として、ボランティアバス運行事業を実施し、南相馬市小高地区でボランティア活動を行いました。

○対象者：朝霞市内在住・在勤・在学で18歳以上（高校生除く）

○期 日：平成29年10月21日

○場 所：福島県南相馬市小高地区

○内 容：自宅敷地内の草むしり

○参加者：16人

※平成29年度で南相馬市社会福祉協議会 災害復旧復興ボランティアセンターが閉所されたため、東日本大震災復興支援事業も終了。

5. 自動販売機設置経営事業の推進

◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。また、新規飲料用自動販売機の設置に向けて調査や交渉等を行いました。

○自動証明写真機：1台（市役所庁舎内）

収益金：182,052円

○小型玩具自動販売機（ガチャガチャ）：2台（朝霞市総合福祉センター館内）

収益金：56,100円

○収 益 金：合計238,152円（平成28年度 200,107円）

6. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

○派遣依頼件数：632件

○派 遣 件 数：602件（個人422件・自治体60件・学校50件・団体70件）

○派 遣 人 数：延べ718人 専任手話通訳者 延べ357人

登録手話通訳者 延べ352人

県、都などからの派遣協力 9人

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
中級	平成29年 4月 ～9月	17人	米内山 昭枝氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル 「あじさい」
養成・前半	平成29年10月 ～平成30年3月	8人	米内山 昭枝氏 (NPO法人手話教師センター)	選任手話通訳者
養成・後半	平成29年 4月 ～平成29年10月	8人	越後 節子氏 (国立リハビリテーションセンター) 杉本 暁史氏 (NPO法人手話教師センター)	選任手話通訳者

◇朝霞市登録手話通訳者試験

- 期 日：平成29年12月14日
- 受 験 者：4人（うち合格者4人）

◇手話通訳者等派遣事務所主催講演会

- 期 日：平成30年3月4日
- 講 師：松山 建也氏（東京バス株式会社）
- 講演テーマ：「目標に向かって私がしたこと」
- 参 加 者：70人

(2) 一般介護予防事業

市内の65歳以上の方を対象に、高齢になっても健康的に生きがいをもって地域の様々な活動の場に参加できるように、介護予防に効果のある体操の指導や運動機能向上を目指した一般介護予防事業に取り組みました。ノルディック・ウォーク教室から自主グループが3つ立ち上がり地域で活動しています。

平成29年度	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室（フォローアップ含む）	3ケル全30回（各ケル10回）	559人
自力整体教室	10～12月 全6回	104人
健康太極拳教室	アリーナ 10～3月 全12回	220人
	地域交流室 9～3月 全14回	
工作事業（世代間交流）	全3回	38人
健康相談（浜崎、溝沼老セン、老人クラブ）	月2回	306人
他部署協働（予防体操等）		91人
各種講座		52人

7. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

- 開 館 日 数：293日
- 共用施設利用状況：723件 延べ8,363人
(集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室)

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・第1回 平成29年 9月27日 参加者：159人
- ・第2回 平成30年 3月 1日 参加者：149人

○はあとびあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施し、ふれあい祭り実行団体の活動内容の紹介も取り入れました。

- ・期 日：平成29年11月23日
- ・来 場 者：延べ1,006人

【はあとぴあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づき、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等、多機能型施設としてのサービスを提供しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

	平成29年度		平成28年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	36人	35人	11人	10人
就労継続支援B型	44人	33人	44人	43人
合計	80人	68人	55人	53人

③通所状況

○送迎サービスの他、自転車、徒歩等による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

平成29年度		平成28年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
16社 社協5部署	2,817,769円	18社 社協6部署	2,821,137円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、タオル・入浴剤箱詰め、靴下ストッキング返し作業、市内幼稚園の園内清掃、コンビニ景品封入れ等

○社会参加活動

児童館祭り喫茶参加、赤い羽根共同募金（街頭募金）、自主製作品展示販売会、地域サロン活動への参加

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

平成29年度		平成28年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,607,438円	ふれあい	4,607,870円
朝霞駅南口 広場	869,400円	朝霞駅南口 広場	869,400円
朝霞市役所 庁舎内	129,600円	朝霞市役所 庁舎内	129,600円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日）

平成29年度			平成28年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
185日	3,582人	2,532,590円	187日	3,241人	2,523,590円

○外部出店：市内児童館の祭りに出店

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日）

平成29年度			平成28年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
187日	9,166人	4,599,037円	188日	10,019人	4,209,975円

○出張販売：市役所、地域包括支援センターモーニングパーク等に出店

⑧主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、消防訓練、ふれあいスポーツ大会等

⑨保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業

⑩ボランティアの受入

○受入人数：7人

○活動内容：売店及び喫茶、利用者の作業見守り等

【障害者就労支援センター業務】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

平成29年度から5年間の指定管理を受託し、書類の整備や事務作業の簡素化などスリム化を図るとともに、職員を1人増員し、職員それぞれの利用者担当数が減り、利用者個々のニーズに対する対応の幅が広がったことにより就職者数が増えました。また、情報の共有や統一した支援ができる基盤をつくるため、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの合同会議を開催しました。

○登録者数：319人（新規登録者42人）

（身体42人・知的84人・精神181人・その他12人）

○就職者数：41人（前年度32人）

○就職先の主な業種

業種	身体障害	知的障害	精神障害
清掃(高齢者施設・マンション等)	2人	2人	7人
事務(PC入力・勤怠管理等)	1人	2人	8人
軽作業(ダンボール仕分・紙すき・組立等)		4人	2人
就労継続支援A型事業所(パン製造・清掃等)		1人	4人
小売業(レジ・品出し・値札付け)			2人
IT(プログラミング・システムエンジニア)			2人
介護(高齢者施設介護補助)		1人	
販売(陳列・接客)		1人	
物流(封入・梱包)		1人	
調理(調理補助・清掃)		1人	
計	3人	13人	25人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	39件 (前年度68件)	雇用相談	延べ 827件 (前年度延べ872件)
調査研究・普及啓発	延べ37件 (前年度延べ21件)	関係機関との連携	延べ1,337件 (前年度延べ1,341件)

○余暇支援事業

- ・期 日：平成29年9月24日
- ・内 容：朝霞市ふれあいスポーツ大会参加
- ・場 所：朝霞市総合体育館
- ・参加者数：9人

【はあとびあ障害者相談支援センター業務】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体の状態、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

平成29年度から5年間の指定管理を受託し、書類の整備や事務作業の簡素化などスリム化を図りました。結果、相談員1人あたりの担当が多く持てるようになったことで、計画相談契約者数の拡大につながりました。また、情報の共有や統一した支援の提供が図れるように、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。それにより各関係機関とも顔の見える関係が構築されました。

平成29年度基本相談	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
登録者	49人	104人	152人	7人	312人
相談件数	55件	277件	229件	115件	676件
平成29年度計画相談	障害者契約者数		障害児契約者数		合計
契約者数	133人		29人		162人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談。 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介。 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携。 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること）。 ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇権利擁護に関する支援等。				

※29年度より、基本相談のみの集計。676件には計画相談は含まれていません。

平成28年度	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能	計
登録者数	58人	124人	83人	1人	266人
相談件数	1,191件	3,166件	2,367件	0件	6,724件
計画相談契約者数	26人	79人	34件	1人	140人

※相談件数6,724件は、計画相談利用者も含まれています。

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種の相談や教室の開催を実施しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度
開館日数	293日	293日	292日	293日
年間利用者数	59,294人	65,967人	73,108人	72,622人
1日平均利用者数	202人	225人	250人	248人
個人利用者数	48,930人	57,417人	65,025人	64,740人
団体利用者数	2,639人	2,915人	2,564人	2,808人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度
実施日数	月1回	月1回	月1回	月1回
相談件数	121件	39件	185件	125件

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

○利用状況

児童館名	開館日数		年間利用者数		1日平均利用者数	
	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度
きたはら	292日	292日	39,947人	40,192人	137人	138人
はまさき	293日	293日	34,413人	33,548人	117人	114人
みぞぬま	293日	293日	55,367人	57,047人	189人	195人
ねぎしだい	293日	293日	34,663人	36,372人	118人	124人
ひざおり	292日	293日	43,976人	46,046人	151人	157人
合計	—	—	208,366人	213,205人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、交流事業、工作事業、合同事業、館外事業、調理事業、春まつり、夏まつり、クリスマス会等

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数（年度当初）		延べ児童数	
	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度
本町	115人	134人	125人	145人	1,436人	1,586人
朝志ヶ丘	150人	185人	162人	152人	1,883人	1,756人
岡	122人	162人	136人	128人	1,536人	1,414人
膝折	130人	130人	101人	98人	1,167人	989人
栄町	135人	205人	188人	167人	2,082人	1,871人
浜崎	148人	148人	141人	144人	1,670人	1,638人
泉水	125人	165人	165人	139人	1,868人	1,658人
幸町	98人	138人	108人	110人	1,295人	1,253人
根岸台	80人	80人	59人	67人	675人	714人
溝沼	140人	140人	112人	114人	1,225人	1,195人
合計	1,243人	1,487人	1,297人	1,264人	14,837人	14,074人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び等

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

①所在地：朝霞市上内間木493-9

②開所日：月曜日～金曜日

③利用者数(年度末)

サービス	平成29年度		平成28年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	11人	15人	12人
就労移行支援	8人	2人	8人	3人
就労継続B型	37人	32人	37人	30人
合計	60人	45人	60人	45人

④通所状況

○送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援事業は自主通所のみ)

⑤主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

平成29年度		平成28年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
15社 社協2部署	4,216,957円	19社 社協2部署	3,607,259円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、老人施設シート交換、洗濯物たたみ、資材梱包、施設内清掃等

○パンの製造販売

施設内にあるパン工房【こんがりパンの店「フレア」】での店頭販売を拡大しました。

販売場所（販売日）	平成29年度		平成28年度	
	販売回数	売上	販売回数	売上
店頭 （毎週水曜日）	45回	3,064,672円	43回	2,725,264円
浜崎農産物直売所 （毎週水曜日）	45回		27回	
店頭 （隔週木曜日）	21回		0回	
老人福祉センター （隔週木曜日）	33回		11回	
市役所ブース販売 （毎月第2金曜日）	12回		11回	
その他 （東洋大学を含む、 市内イベント等）	18回		13回	

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会、赤い羽根共同募金（街頭募金）周辺地域の清掃活動等

⑥就労支援（就労移行支援事業）

一般就労に向けて実施した作業訓練や企業見学・実習を通し、利用者2人が就労しました。

○企業見学：7回（物流、就労継続支援A型事業所、服飾、病院、飲食店、食品、特例子会社）

○企業実習：3回（高齢者施設、飲食店）

○就職者数：2人（高齢者施設、飲食店）

⑦主な年間行事

○保護者懇談会及び個別面談、日帰り課外体験研修、彩夏祭「鳴子踊り」、ふれあいスポーツ大会、新年交流会、障害児親子参加事業、消防訓練等

⑧保健衛生

○利用者健康診断、精神科検診、歯科検診、成人病予防事業、音楽療法等

⑨ボランティアの受入れ

○受入人数：5人

○活動内容：事業の補助、利用者の作業見守り等

⑩ふれあいセンターの管理運営

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、あさか福祉作業所利用者及び地域住民を対象に避難訓練等を実施しました。

当日（第1回目）の地震体験訓練には、地域関係者18人の参加もあり、地域住民との関係性を築く第一歩となり、大きな成果を実感しました。

- ・第1回 平成29年8月21日 参加者：55人（利用者37人・地域関係者18人）
- ・第2回 平成30年2月23日 参加者：42人（利用者42人）

【ふれあい障害者相談支援センター業務】

平成29年4月1日にふれあい障害者相談支援センターを新規開設し、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、利用者及びその保護者からの相談に対し、身体状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

平成29年度	身体	知的	精神	高次脳機能	計
登録者数	5人	42人	0人	0人	47人
計画相談契約者数	5人	42人	0人	0人	47人
サービス等利用計画作成数	5件	48件	0件	0件	53件
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等 				

8. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局（関連3ページ参照）

◇支会理事会の開催

- 平成29年5月26日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者12人
 - ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告
 - ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支
- 平成29年8月29日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者8人
 - ・第27期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会支会長の選任について
 - ・第27期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会福支会長の選任について
 - ・平成29年度共同募金運動の実施について
- 平成30年3月19日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者10人
 - ・平成30年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・平成30年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算
- 平成30年3月28日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者9人
 - ・第27期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会支会長の選任について
 - ・第27期社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会副支会長の選任について

◇赤い羽根共同募金

○期 間：10月1日～3月31日

○目 標：8,000,000円

○実 績 額：7,504,943円（埼玉県共同募金会へ全額送金）

（平成28年実績額：7,416,273円）

◇地域歳末たすけあい募金

○期 間：11月20日～3月31日

○目 標 額：5,060,000円

（平成28年目標額 5,463,000円）

○実 績 額：4,985,325円（埼玉県共同募金会へ全額送金）

（平成28年実績額：5,151,150円）

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員会費募集説明会

平成29年4月12日 朝霞市総合福祉センター 会議室

◇会員会費募集

○強調月間：5月1日～5月31日

○目 標 額：8,149,400円

○実 績 額：6,179,091円（日本赤十字社埼玉県支部へ全額送金）